

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 5 月 9 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏 名	田原 慎二
研究課題	・ 国際分業のもとでの産業構造変化と経済成長に関する実証研究 ・ 基本価格表示の国民経済計算をはじめとする経済統計の推計手法改善に関する研究				
研究キーワード	国民経済計算、産業連関表、 産業構造変化、経済成長	当年度計画に対す る達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連する SDGs項目	1. 貧困をなくそう	8. 働きがいも経済成長も	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	

1. 研究成果の概要

「国際分業のもとでの産業構造変化」に関しては参考文献の収集や読解を進めた。今後、2023 年度末の進化経済学会大会において報告した内容と併せて、論文に取りまとめる予定である。

経済統計に関しては経済産業研究所（RIETI）において 2024 年度 4 月に公表した JIP データベース 2023 の更新作業を進めた。2025 年度には 2023 年度まで計数を延長したデータを公表する予定である。

「基本価格表示の国民経済計算をはじめとする経済統計の推計手法改善に関する研究」に関しては、内閣府経済社会総合研究所の客員研究員として日本の SNA における産業別付加価値と中間投入の推計方法について検討作業を行った。こちらについても今後成果を取りまとめる予定である。

2. 著書・論文・学会発表等

【論文（査読あり）】

【著書・論文（査読なし）】

【学会発表等】

「GDP 統計の水増しはできるか？」週刊エコノミスト 2024 年 8 月 27 日・9 月 3 日合併号掲載

「未解決の問題はらむ付加価値「実質化」」週刊エコノミスト 2024 年 7 月 9 日号掲載

「GDP の精度左右する 1 次統計」週刊エコノミスト 2024 年 5 月 28 日号掲載

「線引き難しい GDP の「生産の境界」問題」田原慎二 週刊エコノミスト 2024 年 4 月 2 日号掲載

「算出方法で見え方も変わる実質 GDP」週刊エコノミスト 2024 年 2 月 13 日号掲載

3. 主な経費

・ 学会会費、参考文献となる書籍・資料の収集、プリンターのトナーの購入等に使用した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

【その他の活動】

- ・ 経済社会総合研究所客員研究員（内閣府）
- ・ 産業連関技術会議委員（総務省）
- ・ 東アジア生産性プロジェクトメンバー（経済産業研究所（RIETI））

（本文は 2 ページ以内にまとめること）